# 日立市原子力災害広域避難計画説明会 質疑応答

# 1 第1回住民説明会

- (1) 日 時 令和5年12月16日(土)午前10時30分から午前11時45分
- (2) 参加者 23人
- (3) 場 所 日立市役所 503・504 会議室
- (4) 質疑応答

質問	回答
この避難計画では、どの程度の被	前提として、PAZ(原発から5km圏内)の方
ばくを想定しているのか。	は、放射性物質の放出前に避難することとなる。
	UPZの方は、放射性物質の放出後においても、20
	μ Sv/h 以内であれば、屋内退避が継続となる。20 μ
	Sv/h を超えた地区について、1日以内に国が地区を特
	定し、一週間以内に一時移転することとなる。
年間被ばく量の上限は1 mSv と聞	一時移転の基準は、国が定めた基準であり、一週間
いている。計画に記載してある UPZ	程度内に一時移転を実施とあるが、必ずしも、一週間
の避難基準 20 μ Sv/h について、20 μ	待たなければならないというものではない。
Sv/h×24 時間×2 日で約 1mSv とな	また、モニタリングポストは、屋外に設置されてい
るが、大丈夫だろうか。	るものであり、屋内で居れば、その分線量は低下す
	る。
避難先が変更となる学区は、2箇	大久保学区と油縄子学区である。
所のみか。	
水木学区の避難中継所は、「郡山カ	下の括弧書き内は、郡山市の避難所が定員超過とな
ルチャーパーク」が指定されている	った場合の予備としての避難先である。
が、その下に括弧書きで「大玉村農	
村環境改善センター」とあるがどの	
ような意味か。	
避難に福祉車両が必要な方の場	避難に必要な福祉車両については、市が必要数を把
合、福祉車両の手配は誰が行うの	握し県へ要請し、県が手配する。
か。	
避難計画どおりに住民が行動する	本計画においては、避難を希望されない方に対して
のかが課題と考えるが、避難を拒否	強制力は無い。
する方に対しての対応はどのように	頑なに拒否する方に対しては、居所等の情報を把握
考えているか。	し、必要な情報を提供することとなる。
親戚、知人などの家に避難するこ	必ずしも市が指定している避難先に避難する必要は
とは可能か。	ない。避難後の生活環境を勘案し、親戚や知人宅に避
	難していただいて問題はない。
	ただし、市として市民の居所を把握するため、避難
	先について市への報告をお願いする。

この計画では、避難者の行動を制 福島事故時には、避難計画がないまま、避難先も示 限するものとなっており、福島事故 されずに一斉避難の指示が出され、混乱を招いた。数 の際には、結果的に早く逃げた方が 度にわたる避難先の変更を強いられた方もいた。 良かった。この計画で大丈夫なの 国は、この反省から、新たにルールを定め、合理的 な方法により混乱を防ごうとしている。市は、それに か。 基づいて本計画を策定しているところである。 "福島県まで実際に避難ができる 県の計画では、高速道路を主な経路として定めてい るが、通行不能となった場合に備え、市の計画では複 のか"ということが課題であると考 数の避難経路を示す予定である。 えている。 避難経路は、高速道路が第一の選 なお、災害時には、計画で示すいずれの避難経路も 択肢となっているが、災害時に使用 通行できないことも想定されることから、高速道路状 できるのか。 況を情報提供するとともに、避難経路に寄らずとも、 避難中継所が目的地であることを啓発が必要してい く。 放射線防護施設について、電源は 各施設に、非常用発電機、燃料及び食料を一定程度 どのように確保しているのか。 準備している。 課題をどのように捉えているの 福島の反省を踏まえて、まずは、広域避難計画に定 める避難行動のルールを広く住民にお知らせし、理解 か。 していただくことが優先であると考える。 一方、広域避難に当たっては、市だけでは解決でき ない課題があり、国、県及び市が連携して解決してい く必要がある。 本計画を市民に広く知っていただくとともに、屋内 原子力災害時には、住民はパニッ 退避の有効性等を、科学的根拠にも基づき周知してい クに陥り、UPZも避難を開始して しまうのではないか。 くことで、混乱の低減を図りたいと考えている。 市民がパニックに陥った場合を想 定した次の計画を、今後策定する予 定はあるのか。

# 2 第2回住民説明会

- (1) 目 時 令和5年12月16日(土)午後1時30分から午後2時45分
- (2) 参加者 19人
- (3) 場 所 日立市役所 503・504 会議室
- (4)

質疑応答	
質問	回答
市内全域が避難となった場合、避難	数年前に県が避難時間に関するシミュレーションを
先に向かう車の台数や、どのくらいの	実施している。また、近く県が同様のシミュレーション
渋滞となるのか等のシミュレーショ	を行う予定であると聞いている。
ンは行っているのか。	市民アンケート結果でも、多くの方が渋滞を心配して
	いるが、一斉に避難を開始することで過剰な渋滞が発生
	しないよう、国が段階的に避難するルールを定めてい
	る。
	また、災害時は、高速道路を県公安委員会が緊急交通
	路に指定する。指定により、一般の方は通行できなくな
	り、避難車両や緊急車両を優先する等、通行車両の制限
	が行われる。
	また、広域避難訓練でも実施した、警察による主要な
	交差点における信号操作により、避難車両を優先的に通
	行させ、避難時間を短縮する取組も検討している。
情報伝達について、JCO事故の際	原子力災害における避難指示については、国が判断・
には、国からの指示が遅く、東海村長	指示し市に伝達し、市はそれを市民にお知らせするとい
が独自の判断を行ったと聞いている。	うルールとなっている。
国からの指示を待つのではなく、市	原子力災害は、段階的に進むことから、市民へ迅速な
独自の判断で、避難に繋げるようなこ	情報伝達をするための準備時間は十分にあると考えて
とはあるのか。	いる。
	なお、安定ヨウ素剤の配布・服用については、制度上、
	市の判断で実施することが可能である。
情報伝達について、コミュニティの	避難指示が出された場合には、コミュニティの役員の
役割がないが良いのか。	方も自身の安全を守るため、一般の方と同様に避難して
	いただくことになる。
	なお、避難指示の前段階である警戒事態等では、交流
	センター利用者に対し、早期帰宅を促す対応をお願いす
	ることが想定される。
人間の心理として、UPZの住民が	現実的に、住民の全てに計画通りに行動していただく
どのような行動をとるのかを想定し	ことは、難しいと考えている。
ているか。	しかし、できるだけルールに沿った行動をとっていた
	だけるよう、計画を丁寧に周知していくことが市の責務

と考えている。

その過程でいただいた意見は、解決できるものは解決して計画に反映させる。なお、市だけでは解決できない課題は、策定後も継続して国、県等と連携し解決を図っていく。    茨城県が公表した拡散シミュレーションでは、拡散範囲が限られているが、特定の条件に基づいた想定であり、本市では、全市民を避難させる想定での計画策定を進めている。今後、県が行うシミュレーションなどの検証結果について、参考としていきたい。   高速道路で避難するには、料金がかかる。また、避難中継所までは、渋滞で時間がかかるのではないか。   高速道路については、災害が発生後、県公安委員会が緊急交通路に指定することによって避難に伴う通行料金は無料となる。また、渋滞対策については、警察、道路管理者やNEXCO等と協議を重ね、避難時間を短くする方法を計画に反映させていきたい。   災害が発生した場合は、車の渋滞が予想される。電車での避難は想定できないか。   現在の計画の中では、電車による避難は記載していない、それを妨げるものではない。   到着駅から避難中継所への移動手段等の課題は考え	避難に必要となるバスは確保でき	避難に必要となる車両の確保については、県が担当す
要を進めている。  東日本大震災の福島原発事故の際は、10km 園が線引きとなっていたと おった。しかし、現在は、福島事政の教訓を踏まえ、I 記憶している。今回の計画の5kmと 30kmの線引きとの同立は難しいので はないか。 帰還困難地域となった場合の想定 はあるか。 一定難所における1人当たりの専有 面積3 ㎡は、当初から決まっていたの か。 避難中継所は、既に決まっているの か。 避難中継所は、既に決まっているの か。 避難中継所は、既に決まっているの か。 避難中継所は、既に決まっているの か。 避難中継所は、既に決まっているの か。 避難中継所は、既に決まっているの か。 一定をしていない。 避難中継所は、既に決まっているの か。 避難中継所は、既に決まっているの か。 一定をしていない。 避難中継所は、既に決まっているの か。 一定を表していない。 避難中継所は、既に決まっているの か。 一定を表しているとのことだが、策定までの流 れを教えてほしい。 一位民説明会やパブリックコメント、原子力安全対策 懇談会での市民意見を踏まえ、市民の代表である市議会との協議を重ね、市の防災会議において決定する。 その過程でいただいた意見は、解決できるものは解決して計画に反映させる。なお、市だけでは解決できない 課題は、策定後も継続して国、県等と連携し解決を図っていく。  大城県が公表した拡散シミュレーションでは、拡散範囲が限られているが、特定の条件に基づいた想定であり、本市では、全市民を避難させる想定での計画策定を進めている。 今後、県が行うシミュレーションなどの検証結果について、参考としていきたい。 高速道路で避難するには、料金がか かる。 また、避難中継所までは、決滞で時間がかかるのではないか。  東連音路については、災害が発生後、県公安委員会が 緊急交通路に指定することによって避難に伴う通行料金は無料となる。また、避難中継所までは、決滞で時間がかかるのではないか。  現本の計画の中では、電車による避難は記載していないが、それを妨げるものではない。 到者駅から避難中継所への移動手段等の課題は考え	るのか。	る。
要を進めている。  東日本大震災の福島原発事故の際は、10km 園が線引きとなっていたと 記憶している。今回の計画の5 km と 30km の練引きとの両立は難しいので はないか。 帰還困難地域となった場合の想定 はあるか。 一般難所における1人当たりの専有 面積3 mfは、当初から決まっていたの か。 避難中継所は、既に決まっているの か。 避難中継所は、既に決まっているの か。 一般難中継所は、既に決まっているの か。 一般を指定している。 一般を指定していない。 一般を指定していない。 一般難所における1人当たりの専有 面積3 mfは、当初から決まっていたの か。 一般を開かるとのことだが、策定までの流 れを教えてほしい。 一般を指定している。 一体を表えてほしい。 一般を指定している。 一体表表を指定している。 一体を表えてほしい。 一般を指定している。 一体表表を指定している。 一体表表を表した性を表え、市民の代表である市議会との協議を重ね、市の防災会議において決定する。 その過程でいただいた意見は、解決できるものは解決して計画に反映させる。なお、市だけでは解決できない 課題は、策定後も継続して国、県等と連携し解決を図っていく。  「大場県が公表した拡散シミュレーションでは、拡散範囲が限られているが、物定の条件に基づいた想定であり、本市では、全市民を避難させる想定での計画策定を進めている。 今後、県が行うシミュレーションなどの検証結果について、参考としていきたい。 「高連道路で避難するには、料金がかかる。 また、避難中継所までは、決滞で時間がかかるのではないか。 「高速道路で避難するには、料金がかかる。また、避難中継所までは、決滞で時間がかかるのではないか。 「東途避難となる。また、没審が発生後、県公安委員会が別を交通路に指定することによって避難に伴う通行料金は無料となる。また、決勝対策については、資務、道路管理者やNE 区での等と協議を重ね、避難時間を短くする方法を計画に反映させていきたい。 現在の計画の中では、電車による避難は記載していないが、それを妨げるものではない。 到者駅から遊離中継所への移動手段等の課題は考え	-	- 県は、県バス協会(約 2,800 台のバスを保有)との調
は、10km 圏が線引きとなっていたと 記憶している。今回の計画の5 km と 30km の線引きとの両立は難しいので はないか。 帰還困難地域となった場合の想定 にあるか。 避難所における1人当たりの専有 面積3 mは、当初から決まっていたのか。 避難中維所は、既に決まっているのか。 避難中維所は、既に決まっているのか。 を年度末に策定することを目標としているとのことだが、策定までの流れを教えてほしい。 ク年度末に策定することを目標としているとのことだが、策定までの流れを教えてほしい。 次域県が公表した拡散シミュレーションを計画に反映させるのか。 高速道路で避難するには、料金がかかる。また、避難中継所までは、渋滞で時間がかかるのではないか。 ア機関・一般を表している。 高速道路で避難するには、料金がかかる。また、避難中継所までは、渋滞で時間がかかるのではないか。 ア機関・一般を表しているが、実定後も継続して国、県等と連携し解決を図っていて、参考としていきたい。 高速道路で避難するには、料金がかかる。また、避難中継所までは、渋滞で時間がかかるのではないか。 ア機関・一般を表している。 高速道路で避難するには、料金がかかる。また、避難中継所までは、渋滞で時間がかかるのではないか。 ア機を発している、実定後も継続して国、県等と連携し解決を図っていて、参考としていきたい。 高速道路に避難するには、料金がかかる。また、避難中継所までは、渋滞で時間がよりでは、災害が発生後、県公安委員会が緊急交通路に指定することによって避難に伴う通行料金に反映させていきたい。 現在の計画の中では、電車による避難は記載していない、それを妨げるものではない。到着駅から避難中継所への移動手段等の課題は考え		
は、10km 圏が線引きとなっていたと 記憶している。今回の計画の5 km と 30km の線引きとの両立は難しいので はないか。 帰還困難地域となった場合の想定 にあるか。 避難所における1人当たりの専有 面積3 mは、当初から決まっていたのか。 避難中維所は、既に決まっているのか。 避難中維所は、既に決まっているのか。 を年度末に策定することを目標としているとのことだが、策定までの流れを教えてほしい。 ク年度末に策定することを目標としているとのことだが、策定までの流れを教えてほしい。 次域県が公表した拡散シミュレーションを計画に反映させるのか。 高速道路で避難するには、料金がかかる。また、避難中継所までは、渋滞で時間がかかるのではないか。 ア機関・一般を表している。 高速道路で避難するには、料金がかかる。また、避難中継所までは、渋滞で時間がかかるのではないか。 ア機関・一般を表しているが、実定後も継続して国、県等と連携し解決を図っていて、参考としていきたい。 高速道路で避難するには、料金がかかる。また、避難中継所までは、渋滞で時間がかかるのではないか。 ア機関・一般を表している。 高速道路で避難するには、料金がかかる。また、避難中継所までは、渋滞で時間がかかるのではないか。 ア機を発している、実定後も継続して国、県等と連携し解決を図っていて、参考としていきたい。 高速道路に避難するには、料金がかかる。また、避難中継所までは、渋滞で時間がよりでは、災害が発生後、県公安委員会が緊急交通路に指定することによって避難に伴う通行料金に反映させていきたい。 現在の計画の中では、電車による避難は記載していない、それを妨げるものではない。到着駅から避難中継所への移動手段等の課題は考え	   東日本大震災の福島原発事故の際	当時の基準は、EPZと言って 10km が避難の目安で
記憶している。今回の計画の5 km と 30km の線引きとの両立は難しいので はないか。		
30kmの線引きとの両立は難しいのではないか。  帰還困難地域となった場合の想定はあるか。  遊難所における1人当たりの専有面積が、福島県では当初から洗まっていたのか。  避難中継所は、既に決まっていたのか。  避難中継所は、既に決まっていたのか。  一を作度末に策定することを目標としているとのことだが、策定までの流れを教えてほしい。  一を教えてほしい。  一を教えてほしい。  一を教えてほしい。  一を教えではしい。  一を教えでは、いた、策定までの流れを教えでは、一に、解決できるものは解決して計画に反映させる。なお、市だけでは解決できない、課題は、策定後も継続して国、県等と連携し解決を図っていく。  一を表していきたい、表した拡散シミュレーションを計画に反映させる。なお、市だけでは解決できない、課題は、策定後も継続して国、県等と連携し解決を図っていく。  一を必要難させる想定での計画策定を進めている。一会後、県が行うシミュレーションなどの検証結果について、参考としていきたい。  「高速道路で避難するには、料金がかかる。また、避難中継所までは、渋滞で時間がかかるのではないか。  「成事が発生した場合は、車の渋滞が、発生を強力には、警察、道路管理者やNE また、洗滞対策については、警察、道路管理者やNE また、洗滞対策については、電車による避難は記載していないが、それを妨げるものではない。 到着駅から避難中継所への移動手段等の課題は考え		
はないか。		
ただくための計画であり、帰還が困難となった際の対応については、想定をしていない。  避難所における1人当たりの専有面積が、福島県では当初から3 ㎡となっていた。  避難中継所は、既に決まっているのか。  避難中継所は、既に決まっているのか。  避難中継所は、避難先市町村に避難する際の、最初の目的地となるもので、避難先市町村の中でも大規模な施設を指定している。  全年度末に策定することを目標としている。  住民説明会やパブリックコメント、原子力安全対策 懇談会での市民意見を踏まえ、市民の代表である市議会との協議を重ね、市の防災会議において決定する。その過程でいただいた意見は、解決できるものは解決して計画に反映させる。なお、市だけでは解決できない課題は、策定後も継続して国、県等と連携し解決を図っていく。  茨城県が公表した拡散シミュレーションでは、拡散範囲が限られているが、特定の条件に基づいた想定であり、本市では、全市民を避難させる想定での計画策定を進めている。今後、県が行うシミュレーションなどの検証結果について、参考としていきたい。  高速道路で避難するには、料金がかかる。 また、避難中継所までは、渋滞で時間がかかるのではないか。  高速道路で過程するには、料金がかかる。また、避難中継所までは、渋滞で時間がかかるのではないか。  東急交通路に指定することによって避難に伴う通行料金は無料となる。また、洗滞対策については、警察、道路管理者やNEXCO等と協議を重ね、避難時間を短くする方法を計画に反映させていきたい。  現在の計画の中では、電車による避難は記載していないが、それを妨げるものではない。到着駅から避難中継所への移動手段等の課題は考え		
については、想定をしていない。  避難所における1人当たりの専有面積が、福島県では当初から3㎡となっていた。  避難中継所は、既に決まっているのか。  避難中継所は、既に決まっているのわか。  一を中度末に策定することを目標としているとのことだが、策定までの流れを教えてほしい。  一を教えてほしい。  一を教えてほしい。  一を教えてほしい。  一を教えてほしい。  一を教えではしい。  一を教えでは、一を教えであるので、選難先市町村に避難する際の、最初の目的地となるもので、選難先市町村の中でも大規模な施設を指定している。  一様に説明会やパブリックコメント、原子力安全対策を表との協議を重ね、市の防災会議において決定する。  一をの過程でいただいた意見は、解決できるものは解決して計画に反映させる。なお、市だけでは解決できない課題は、策定後も継続して国、県等と連携し解決を図っていく。  一会ののシミュレーションでは、拡散範囲が限られているが、特定の条件に基づいた想定であり、本市では、全市民を避難させる想定での計画策定を進めている。今後、県が行うシミュレーションなどの検証結果について、参考としていきたい。  本書を選挙においては、災害が発生後、県公安委員会が緊急交通路に指定することによって避難に伴う通行料金は無料となる。また、渋滞対策については、警察、道路管理者やNEXCO等と協議を重ね、避難時間を短くする方法を計画に反映させていきたい。  現在の計画の中では、電車による避難は記載していないが、それを妨げるものではない。到着駅から避難中継所への移動手段等の課題は考え	帰還困難地域となった場合の想定	この避難計画は、市民に迅速かつ安全に避難をしてい
選難所における1人当たりの専有面積が、福島県では	はあるか。	│ │ただくための計画であり、帰還が困難となった際の対応 │
面積3㎡は、当初から決まっていたのか。  避難中継所は、既に決まっているのか。  避難中継所は、既に決まっているのもので、避難先市町村に避難する際の、最初の目的地となるもので、避難先市町村の中でも大規模な施設を指定している。  今年度末に策定することを目標としているとのことだが、策定までの流れを教えてほしい。  住民説明会やパブリックコメント、原子力安全対策といるを教えてほしい。  住民説明会やパブリックコメント、原子力安全対策といるを教えてほしい。  住民説明会やパブリックコメント、原子力安全対策といる。 会との協議を重ね、市の防災会議において決定する。その過程でいただいた意見は、解決できるものは解決して計画に反映させる。なお、市だけでは解決できない課題は、策定後も継続して国、県等と連携し解決を図っていく。  今回のシミュレーションでは、拡散範囲が限られているが、特定の条件に基づいた想定であり、本市では、全市民を避難させる想定での計画策定を進めている。今後、県が行うシミュレーションなどの検証結果について、参考としていきたい。  高速道路で避難するには、料金がかかる。また、避難中継所までは、決滞で時間がかかるのではないか。  高速道路については、災害が発生後、県公安委員会が緊急交通路に指定することによって避難に伴う通行料金は無料となる。また、渋滞対策については、繁察、道路管理者やNEXCO等と協議を重ね、避難時間を短くする方法を計画に反映させていきたい。  現在の計画の中では、電車による避難は記載していない、それを妨げるものではない。到着駅から避難中継所への移動手段等の課題は考え	-	については、想定をしていない。
面積3㎡は、当初から決まっていたのか。  避難中継所は、既に決まっているのか。  避難中継所は、既に決まっているのもので、避難先市町村に避難する際の、最初の目的地となるもので、避難先市町村の中でも大規模な施設を指定している。  今年度末に策定することを目標としているとのことだが、策定までの流れを教えてほしい。  住民説明会やパブリックコメント、原子力安全対策といるを教えてほしい。  住民説明会やパブリックコメント、原子力安全対策といるを教えてほしい。  住民説明会やパブリックコメント、原子力安全対策といる。 会との協議を重ね、市の防災会議において決定する。その過程でいただいた意見は、解決できるものは解決して計画に反映させる。なお、市だけでは解決できない課題は、策定後も継続して国、県等と連携し解決を図っていく。  今回のシミュレーションでは、拡散範囲が限られているが、特定の条件に基づいた想定であり、本市では、全市民を避難させる想定での計画策定を進めている。今後、県が行うシミュレーションなどの検証結果について、参考としていきたい。  高速道路で避難するには、料金がかかる。また、避難中継所までは、決滞で時間がかかるのではないか。  高速道路については、災害が発生後、県公安委員会が緊急交通路に指定することによって避難に伴う通行料金は無料となる。また、渋滞対策については、繁察、道路管理者やNEXCO等と協議を重ね、避難時間を短くする方法を計画に反映させていきたい。  現在の計画の中では、電車による避難は記載していない、それを妨げるものではない。到着駅から避難中継所への移動手段等の課題は考え		避難所における1人当たりの専有面積が、福島県では
か。     選難中継所は、既に決まっているの か。     選難中継所は、避難先市町村に避難する際の、最初の 目的地となるもので、避難先市町村の中でも大規模な施 設を指定している。     今年度末に策定することを目標と しているとのことだが、策定までの流     私を教えてほしい。     在民説明会やパブリックコメント、原子力安全対策     懇談会での市民意見を踏まえ、市民の代表である市議 会との協議を重ね、市の防災会議において決定する。 その過程でいただいた意見は、解決できるものは解決して計画に反映させる。なお、市だけでは解決できない 課題は、策定後も継続して国、県等と連携し解決を図っていく。     今回のシミュレーションでは、拡散範囲が限られているが、特定の条件に基づいた想定であり、本市では、全市民を避難させる想定での計画策定を進めている。     今後、県が行うシミュレーションなどの検証結果について、参考としていきたい。     高速道路で避難するには、料金がかる。 また、避難中継所までは、渋滞で時間がかかるのではないか。     高速道路については、災害が発生後、県公安委員会が 緊急交通路に指定することによって避難に伴う通行料 金は無料となる。 また、渋滞対策については、警察、道路管理者やNE XCO等と協議を重ね、避難時間を短くする方法を計画に反映させていきたい。     現在の計画の中では、電車による避難は記載していないが、それを妨げるものではない。     到着駅から避難中継所への移動手段等の課題は考え		
選難中継所は、既に決まっているの		
設を指定している。		避難中継所は、避難先市町村に避難する際の、最初の
会年度末に策定することを目標としているとのことだが、策定までの流 想談会での市民意見を踏まえ、市民の代表である市議会との協議を重ね、市の防災会議において決定する。その過程でいただいた意見は、解決できるものは解決して計画に反映させる。なお、市だけでは解決できない課題は、策定後も継続して国、県等と連携し解決を図っていく。    茨城県が公表した拡散シミュレーションでは、拡散範囲が限られているが、特定の条件に基づいた想定であり、本市では、全市民を避難させる想定での計画策定を進めている。今後、県が行うシミュレーションなどの検証結果について、参考としていきたい。   高速道路で避難するには、料金がかかる。また、避難中継所までは、渋滞で時報が表としていきたい。   高速道路で遊難するには、料金がかかる。また、避難中継所までは、渋滞で時報が表としていきたい。   東京道路については、災害が発生後、県公安委員会が、監査が発生した場合は、東の渋滞が表したい。でいまたい。では、登察、道路管理者やNEXの等と協議を重ね、避難時間を短くする方法を計画に反映させていきたい。   災害が発生した場合は、東の渋滞が表している。では、電車による避難は記載していない、それを妨げるものではない。   到着駅から避難中継所への移動手段等の課題は考え	カゝ。	   目的地となるもので、避難先市町村の中でも大規模な施
しているとのことだが、策定までの流   れを教えてほしい。	-	設を指定している。
会との協議を重ね、市の防災会議において決定する。 その過程でいただいた意見は、解決できるものは解決して計画に反映させる。なお、市だけでは解決できない課題は、策定後も継続して国、県等と連携し解決を図っていく。  茨城県が公表した拡散シミュレーションでは、拡散範囲が限られているが、特定の条件に基づいた想定であり、本市では、全市民を避難させる想定での計画策定を進めている。今後、県が行うシミュレーションなどの検証結果について、参考としていきたい。 高速道路で避難するには、料金がかかる。また、避難中継所までは、渋滞で時間がかかるのではないか。  「意連道路については、災害が発生後、県公安委員会が緊急交通路に指定することによって避難に伴う通行料金は無料となる。また、洗滞対策については、警察、道路管理者やNEXCO等と協議を重ね、避難時間を短くする方法を計画に反映させていきたい。  災害が発生した場合は、車の渋滞が予想される。電車での避難は想定できないか。  現在の計画の中では、電車による避難は記載していない、それを妨げるものではない。  到着駅から避難中継所への移動手段等の課題は考え	└──今年度末に策定することを目標と	住民説明会やパブリックコメント、原子力安全対策
会との協議を重ね、市の防災会議において決定する。 その過程でいただいた意見は、解決できるものは解決して計画に反映させる。なお、市だけでは解決できない課題は、策定後も継続して国、県等と連携し解決を図っていく。  茨城県が公表した拡散シミュレーションでは、拡散範囲が限られているが、特定の条件に基づいた想定であり、本市では、全市民を避難させる想定での計画策定を進めている。今後、県が行うシミュレーションなどの検証結果について、参考としていきたい。 高速道路で避難するには、料金がかかる。また、避難中継所までは、渋滞で時間がかかるのではないか。  「意連道路については、災害が発生後、県公安委員会が緊急交通路に指定することによって避難に伴う通行料金は無料となる。また、洗滞対策については、警察、道路管理者やNEXCO等と協議を重ね、避難時間を短くする方法を計画に反映させていきたい。  災害が発生した場合は、車の渋滞が予想される。電車での避難は想定できないか。  現在の計画の中では、電車による避難は記載していない、それを妨げるものではない。  到着駅から避難中継所への移動手段等の課題は考え	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	
して計画に反映させる。なお、市だけでは解決できない 課題は、策定後も継続して国、県等と連携し解決を図っていく。    茨城県が公表した拡散シミュレー   今回のシミュレーションでは、拡散範囲が限られているが、特定の条件に基づいた想定であり、本市では、全市民を避難させる想定での計画策定を進めている。今後、県が行うシミュレーションなどの検証結果について、参考としていきたい。   高速道路で避難するには、料金がかかる。	   れを教えてほしい。	
課題は、策定後も継続して国、県等と連携し解決を図っていく。  茨城県が公表した拡散シミュレー ションを計画に反映させるのか。  高速道路で避難するには、料金がかかる。 また、避難中継所までは、渋滞で時間がかかるのではないか。  災害が発生した場合は、車の渋滞が予想される。電車での避難は想定できないが、それを妨げるものではない。  課題は、策定後も継続して国、県等と連携し解決を図っていく。  今回のシミュレーションでは、拡散範囲が限られているが、特定の条件に基づいた想定であり、本市では、全市民を避難させる想定での計画策定を進めている。 今後、県が行うシミュレーションなどの検証結果について、参考としていきたい。  高速道路については、災害が発生後、県公安委員会が緊急交通路に指定することによって避難に伴う通行料金は無料となる。また、渋滞対策については、警察、道路管理者やNEXCO等と協議を重ね、避難時間を短くする方法を計画に反映させていきたい。  現在の計画の中では、電車による避難は記載していないが、それを妨げるものではない。 到着駅から避難中継所への移動手段等の課題は考え		その過程でいただいた意見は、解決できるものは解決
次城県が公表した拡散シミュレーションでは、拡散範囲が限られていションを計画に反映させるのか。		して計画に反映させる。なお、市だけでは解決できない
<ul> <li>茨城県が公表した拡散シミュレーションでは、拡散範囲が限られていションを計画に反映させるのか。</li> <li>高速道路で避難するには、料金がかかる。</li> <li>また、避難中継所までは、渋滞で時間がかかるのではないか。</li> <li>び害が発生した場合は、車の渋滞が予想される。電車での避難は想定できないか。</li> <li>今回のシミュレーションでは、拡散範囲が限られているが、特定の条件に基づいた想定であり、本市では、全市民を避難させる想定での計画策定を進めている。今後、県が行うシミュレーションなどの検証結果について、参考としていきたい。</li> <li>高速道路については、災害が発生後、県公安委員会が緊急交通路に指定することによって避難に伴う通行料金は無料となる。また、渋滞対策については、警察、道路管理者やNEXCO等と協議を重ね、避難時間を短くする方法を計画に反映させていきたい。</li> <li>現在の計画の中では、電車による避難は記載していない、それを妨げるものではない。</li> <li>到着駅から避難中継所への移動手段等の課題は考え</li> </ul>		課題は、策定後も継続して国、県等と連携し解決を図っ
ションを計画に反映させるのか。		ていく。
市民を避難させる想定での計画策定を進めている。	茨城県が公表した拡散シミュレー	今回のシミュレーションでは、拡散範囲が限られてい
今後、県が行うシミュレーションなどの検証結果について、参考としていきたい。  高速道路で避難するには、料金がかある。 また、避難中継所までは、渋滞で時間がかかるのではないか。  「はがかかるのではないか。  「ないか。  「ないか。  「ないか。  「おいからのではないか。  「ないか。  「ないか。  「ないか。  「ないか。  「ないか。  「ないか。  「ないか。  「ないか。  「ないからないでは、料金がかな考していては、次書が発生後、県公安委員会がいる。とは無料となる。 「ないからが表生したよって避難に伴う通行料金は無料となる。」は、洗滞対策については、警察、道路管理者やNEXCO等と協議を重ね、避難時間を短くする方法を計画に反映させていきたい。  「ないから、現在の計画の中では、電車による避難は記載していない。」はいか、それを妨げるものではない。  「対象が行るものではない。」  「対象が行うが表生した場合は、車の渋滞がいた。」  「対象が行うが表生した場合は、車の渋滞がいた。」  「おいから避難は悪いの移動手段等の課題は考え	ションを計画に反映させるのか。	るが、特定の条件に基づいた想定であり、本市では、全
高速道路で避難するには、料金がかかる。 また、避難中継所までは、渋滞で時間がかかるのではないか。 災害が発生した場合は、車の渋滞が予想される。電車での避難は想定できないが、それを妨げるものではない。 高速道路については、災害が発生後、県公安委員会が緊急交通路に指定することによって避難に伴う通行料金は無料となる。 また、渋滞対策については、警察、道路管理者やNEXCO等と協議を重ね、避難時間を短くする方法を計画に反映させていきたい。 現在の計画の中では、電車による避難は記載していない。それを妨げるものではない。 到着駅から避難中継所への移動手段等の課題は考え		市民を避難させる想定での計画策定を進めている。
高速道路で避難するには、料金がか   おる。   また、避難中継所までは、渋滞で時   電がかかるのではないか。   また、渋滞対策については、災害が発生後、県公安委員会が   緊急交通路に指定することによって避難に伴う通行料   金は無料となる。   また、渋滞対策については、警察、道路管理者やNE   XCO等と協議を重ね、避難時間を短くする方法を計画   に反映させていきたい。   災害が発生した場合は、車の渋滞が   予想される。電車での避難は想定でき   ないか。   現在の計画の中では、電車による避難は記載していな   いが、それを妨げるものではない。   到着駅から避難中継所への移動手段等の課題は考え		今後、県が行うシミュレーションなどの検証結果につ
かる。		いて、参考としていきたい。
また、避難中継所までは、渋滞で時 金は無料となる。  また、渋滞対策については、警察、道路管理者やNE XCO等と協議を重ね、避難時間を短くする方法を計画 に反映させていきたい。  災害が発生した場合は、車の渋滞が 現在の計画の中では、電車による避難は記載していな いが、それを妨げるものではない。  到着駅から避難中継所への移動手段等の課題は考え	高速道路で避難するには、料金がか	高速道路については、災害が発生後、県公安委員会が
間がかかるのではないか。 また、渋滞対策については、警察、道路管理者やNE XCO等と協議を重ね、避難時間を短くする方法を計画 に反映させていきたい。	かる。	緊急交通路に指定することによって避難に伴う通行料
XCO等と協議を重ね、避難時間を短くする方法を計画に反映させていきたい。  災害が発生した場合は、車の渋滞が現在の計画の中では、電車による避難は記載していない。  予想される。電車での避難は想定できいが、それを妨げるものではない。  到着駅から避難中継所への移動手段等の課題は考え	また、避難中継所までは、渋滞で時	金は無料となる。
に反映させていきたい。     災害が発生した場合は、車の渋滞が 現在の計画の中では、電車による避難は記載していな	間がかかるのではないか。	また、渋滞対策については、警察、道路管理者やNE
災害が発生した場合は、車の渋滞が 現在の計画の中では、電車による避難は記載していな 予想される。電車での避難は想定でき いが、それを妨げるものではない。 ないか。 到着駅から避難中継所への移動手段等の課題は考え		XCO等と協議を重ね、避難時間を短くする方法を計画
予想される。電車での避難は想定でき いが、それを妨げるものではない。 ないか。 到着駅から避難中継所への移動手段等の課題は考え		に反映させていきたい。
ないか。 到着駅から避難中継所への移動手段等の課題は考え	災害が発生した場合は、車の渋滞が	現在の計画の中では、電車による避難は記載していな
	予想される。電車での避難は想定でき	いが、それを妨げるものではない。
られるが、一案として検討したい。	ないか。	到着駅から避難中継所への移動手段等の課題は考え
NC C CINH OCC 0		られるが、一案として検討したい。

# 3 第3回住民説明会

- (1) 日 時 令和5年12月17日(日)午前10時30分から午前11時45分
- (2) 参加者 27人
- (3) 場 所 多賀市民会館小ホール
- (4) 質疑応答

質問	回答
原子力災害時に、なぜUPZの住	現在のルールは、避難計画がない中での避難を強いら
民は、被ばくを受けながら屋内退避	れ、混乱を招いた福島事故の反省の上で国が定めたもの
を行わなければならないのか。	である。
また、一斉に避難する計画を策定	一斉避難に伴うリスクや、放射性物質の放出まで屋内
できないのか。	退避を行うことなどのルールについて、根拠を示しなが
	ら啓発を図っていきたい。
東海村の住民が先に避難すること	東海村は、南方面に避難することとなるため、北方面
により、高速道路は渋滞で使用でき	への高速道路利用者は限られると想定される。
ないのではないか。	
避難の指示は、どのような手段で	市では、まず、防災行政無線機や緊急速報メールな
知らされるのか。	ど、情報を広く早く伝達できる手段を使って周知を図る
	ほか、市HP・SNS、ひたちナビ等、様々な手段での
	広報を行う。
	また、避難指示等については、国等からの情報により
	テレビやラジオ等でも広報が行われる。一時集合場所な
	ど、本市限定の情報については、市の媒体で確認してほ
	しい。
避難行動要支援者について、市全	現在、令和7年度までを目標に、市保健福祉部におい
域が対象となると、避難支援等実施	て個別避難計画の策定を進めている。
者が早急に対応できる方々ばかりで	この個別避難計画は、真に自力で避難することが難し
はないことから、対応が難しいので	い方を対象に、個人の避難計画を策定し、避難支援等実
はないか。	施者を指定するものである。
	実際に、避難支援等実施者による支援が難しい場合に
	は、市に連絡をいただき、関係機関と連携して支援を行
	うことになる。
国が判断し、市が指示を出すとタ	事故の発生や進展の連絡は、事業者から直接市へも連
イムラグが生ずる。本当に緊急性を	絡が入り、市は対応の準備をして、国からの指示等を待
要する場合にそれだけの猶予があっ	つことになり、迅速な対応はできると考えている。
ていいのか。	国からの連絡は、インターネット回線を活用したシス
	テムにより状況共有が行われ、迅速性も高い。
	また、連絡訓練も定期的に実施している。
今後、学校の統廃合が進む中、コ	今後の動向を捉え、必要があれば適切に計画に反映し
ミュニティ単会単位での避難が維持	ていく。
できるのか。その確認は行われてい	
るのか。	

広域避難計画の情報を今後、どの ように住民に周知していくのか。 令和2年に原子力災害広域避難ガイドマップを全戸配布しているが、今年行った市民アンケートによると、7割以上の方が、広域避難のルールを知らないと回答している。

そのため、まずは年度内に計画を策定し、次年度以降、 広域避難計画を一人でも多くの方に、理解していただく 取組を進めていく。

具体的には、新しいガイドマップの配布や住民説明会 の開催等を検討していきたい。

家族で住所が異なり、避難先が異なる場合は一緒に避難することはできるのか。

この計画は、基本的なルールを示したものであり、ルールと異なる行動を制限するものではない。 ご家族の状況により、判断してほしい。

道路の損壊等の発生により、避難 経路が使用できない場合の対応について教えてほしい。 県の計画では、高速道路を主な経路として定めているが、通行不能となった場合に備え、市の計画では複数の 避難経路を示す予定である。

なお、災害時には、計画で示すいずれの避難経路も通行できないことも想定されることから、適時道路状況を情報提供するとともに、避難経路に寄らずとも、避難中継所が目的地であることを啓発が必要していく。

塩単中継所に指定されているが、先日、三春町町民体育館を訪問した際、体育館職員が、日立市民の避難中継所に指定されていることを把握していなかった。

市として、各避難中継所を訪問して周知徹底が必要なのではないか。

避難先市町村とは、避難中継所の確認もとっており、 原子力災害時は避難先市町村により、避難中継所が開設 されることとなる。

# 4 第4回住民説明会

- (1) 日 時 令和5年12月17日(日)午後1時30分から午後2時45分
- (2) 参加者 15人
- (3) 場 所 多賀市民会館小ホール
- (4) 質疑応答

質問	回答
飲食物の摂取制限について、現在、放射性セシウムによる飲料水の摂取制限は10ベクレル/kgが基準となっているはずだが、計画では何故200ベクレル/kgなのか。また、飲料水の基準に牛乳を含めていないのは何故か。 北風及び南風の状況を勘案し、日立市内の地区ごとに、放射性物質の拡散状況のシミュレーションを行ってみてはどうか。	飲食物の摂取制限に関する基準については、 市独自のものでなく、全国で同じ基準を使用している。 牛乳の記載については、今回の説明資料が概要であるため一部を省略し記載している。 万一、放射性物質が放出された場合の拡散シミュレーションを、先日、県が公表している。 県では5つの風向きにより、気象条件を変え
	て行った。県のHPでも確認できるので、ご覧 いただきたい。
避難行動要支援者への対応は、コミュニ ティの役割を含め、定期的な議論が必要で はないか。	避難行動要支援者への対応は、市保健福祉部において、個別避難計画の策定を進めており、 避難支援等実施者を定めているところである。
情報提供として、福島事故の際には、自宅に戻る時間もなく避難を開始したことから、現金もなく非常に苦労したと聞いている。 その際には、福島県のある金融機関が、1家族10万円を配布したとのことであった。市としても、金融機関と原子力災害時における対応を話し合う事を提案したい。	ご意見を参考として承る。
高齢者も多く、渋滞の発生も見込まれる中、福島県まで避難することは無理ではないか。	原子力災害が起きた場合の迅速かつ安全な広 域避難のために計画が必要である。 様々な課題は、市だけではなく、国、県及び 関係機関も含めて知恵を出し合って解決してい きたい。
原子力発電所において事故が発生した場合には大きな被害が出る。東海第二発電所 の再稼働自体止めるべきでは。	本日は、避難計画の説明会であるため、再稼働の是非についてのお答えは差し控える。
広域避難計画の策定が、東海第二発電所 の再稼働に繋がるのではないか。	本日は避難計画の説明会である。また、市では、住民を安全に避難させるために計画を策定している。 ご意見は参考として承る。

# 5 第5回住民説明会

- (1) 目 時 令和5年12月23日(土)午前10時30分から午前11時45分
- (2) 参加者 25人
- (3) 場 所 南部支所多目的室
- (4)

質疑応答	
質問	回答
どのくらいの方が、自宅から自家	本年1月から3月にかけて、避難行動に関するアンケ
用車を使用して避難するのか。	ートを市内の約3,000人を対象に実施している。
また、どのくらいの方が、バスを	その結果によると、「自力での避難が可能」と回答し
使用して避難するのかを想定してい	た方が約7割、「避難時にバスの手配が必要」と回答し
るのか。	た方が約2割であった。
バスは何台確保できるのか。バス	避難に必要となる車両の確保については、県が担当す
の運転手は確保できるのか。	る。
何台の福祉車両が必要なのか。	県は、県バス協会(約 2,800 台のバスを保有)との調
	整を進めている。
	運転手の確保については、県職員がバス会社を個別に
	訪問し、説明を行い、理解の浸透を図っている。
	避難手段の確保については、現在回答できない部分が
	残るが、現在、課題の解決に向け取り組んでいるところ
	である。
東海第二発電所を再稼働させるた	原子力発電所がある以上、原子炉が稼働していなくと
めに、広域避難計画を策定するので	も事故の可能性があるため、市としては住民の安全を確
はないか。	保する観点から、広域避難計画の策定を進めている。
福島第一原子力発電所の事故によ	本日は、広域避難計画の説明会であることから、帰還
り、現在も帰還困難者がいると聞い	困難者に関する情報は有していない。
ている。	一方、帰還困難者を発生させないためにも、国は、福
帰還困難者の現状を教えてほし	島第一原子力発電所の事故の反省を踏まえ、広域避難の
٧٠°	ルールを定めている。
11月5日に行った原子力災害広域	成果としては、避難方法について、住民が一時集合場
避難訓練の成果と反省点を教えてほ	所から避難中継所へ、さらに、避難所へ移動する流れの
LVIO	確認ができたことである。
	また、バス乗車に当たって必要となる情報の確認や、
	避難中継所や避難所で必要となる書類についても、新た
	に作成した各種様式の使用を通して確認できたことも成
	果であった。
	反省点としては、参加者の人数関係により、移動した
	バスの台数が少なかったことである。実際に原子力災害
	が発生し、避難の際には多くの車両と参集人数が見込ま
	れることから、一時集合場所や避難中継所におけるスム

ーズな受付について、県や避難先市町村などと検討を続

けていく必要があると考えている。

福島第一原子力発電所事故の際に まず、福島第一原子力発電所の事故の反省から、国に は、大渋滞が発生した。渋滞対策と よって段階的に避難を実施する広域避難のルールが定め して、JRの活用は考えているの られた経緯がある。 本市の場合、避難の際の主な避難経路は、常磐自動車 か。 道となるが、災害が発生し、県公安委員会により、緊急 交通路に指定されることによって、通行が避難者と緊急 輸送車に限定され、渋滞の発生が抑制されると思われ る。 電車による避難は、個人で活用することを妨げるもの ではなく、避難先によっては、効率的であると考える。 原子力災害の状況によって異なることから、数字を示 原子力事故から避難までの時間 は、どのくらいを想定しているか。 して回答することは難しいが、資料によると、「事故の 発生から放射性物質の放出に至るまでは、ある程度の時 間的な余裕が」あるとされている。 また、先の災害を教訓に、国により定められた原子力 発電所の新しい規制基準では、安全性がかなり向上して いるとの説明を受けている。 そのため、前触れもなく突然に放射性物質が放出され る可能性は少ないと考えている。 例えば、避難車両の確保についても市単独では解決で 令和6年3月を目標に、広域避難 計画の策定作業を進めていると伺っ きる課題ではないと考えている。 また、屋内退避継続時におけるライフラインの維持な たが、3月の段階では課題が解決さ どについても、国や県等と協議する必要があるなど、原 れているのか。 子力災害は広いエリアでの対応が必要であることから、 課題の解決には国等の支援が必要な事項も多くある。 まずは、各市町村が広域避難計画を策定後、国等と協 議し、課題を解決していくこととなることから、3月の 段階では、課題は残る。 原子力発電所が現に存在することから、まずは、計画 を策定し、避難手段等を住民に知っていただくことが優 先だと考えている。 様々な課題があることが分かっ まずは、広域避難計画として、どのように避難を行っ た。それでも計画を策定するのか。 ていただくのかを住民にお知らせすることが必要であ

り、優先と考えている。

課題については、国や県などと連携し解決していく。